

市議会だより

# はまだ

Vol.35  
平成26年(2014年)11月1日発行

## 統合する3校の運動会



上府小学校

思い出をいっぱい、ありがとう！



国府小学校

青い空の下で入場行進！



有福小学校

校歌ダンスで はい、ポーズ！

### 9月定例会 主な記事

22人の議員が論戦（個人一般質問）	5
特別委員会中間報告	12
政治倫理審査会の報告について	15
議会報告会の質問への回答	16

# 平成26年9月定例会

平成26年9月浜田市議会定例会が9月1日に招集され、9月30日までの30日間の会期で開かれました。今定例会で提出された議案は、市長提出が40件、議会提出が1件、請願2件、陳情1件でした。審査の様子は、2ページから3ページに、採決の結果は4ページに掲載しています。また、個人一般質問には、22人が立ちました。論戦の様子は5ページから掲載しています。なお、政治倫理審査会の結果報告は15ページに、議会報告会の執行部回答は16ページに掲載しています。

## 譲渡契約の 詰めを議論!

— 総務文教委員会 —

総務文教委員会に付託された、同意6件、議案9件及び継続審査となっておりました請願1件について審査を行いました。同意案件の「副市長(自治区長)の選任について」の2件は、1人の委員が反対しましたが、賛成多数で同意しました。特に質疑が集中した案件は「財産の無償譲渡について(旧金城中学校寄宿舎)」で、委員からは譲渡条件の期間や目的終了後の施設の処分はどうするのかなど、無償譲渡の契約について多くの質疑や意見がありました。執行部からは譲渡条件以外の使用となれば無効となるが、その場合は地元と協議していく、処分

の問題については考えられてはいないなどの答弁がありました。この件については今後も同様の内容の提案が予想されることから、今後譲渡契約の際は、詳細な詰めを行うよう求めることを委員長報告のなかに盛り込みました。



金城中学校旧寄宿舎

採決の結果、同意案件2件と、「議案第66号」以外は全会一致で可決すべきものと決しました。また、継続審査となっていました「集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないこと」を求める意見書の提出については、閣議決定には住民の多くが反対しており、将来に禍根を残してはならない、これまではできないとされてきたものを時の内閣が拡大解釈

して決定したもので、大きな問題があるとの賛成意見や、これまでの政府見解による憲法9条の下で認められる自衛の措置の限界を示したもので、行使容認でも解釈の変更でもないなどの反対意見ができました。採決の結果、不採択とすべきものと決しました。

## 子育て支援策へ 環境整備

— 福祉環境委員会 —

書)の証明書の交付が受けられる内容で、個人情報保護上の責任、機器の保守や故障時の対応などの質疑がありました。また、子ども・子育て支援法など関係法律の制定に伴い、次の3つの条例の審査を行いました。「浜田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例」は、認定こども園、保育所、幼稚園、家庭的保育事業などの利用区分、利用定員、運営の基準など浜田市の状況についての質疑がありました。

福祉環境委員会に付託された、議案4件、請願1件について審査を行いました。「住民基本台帳カードの利用に関する条例」は、27年1月から住民基本台帳カードを利用することにより、コンビニエンスストアで3種類(住民票の写し、印鑑登録証明書、所得課税証明



充実させたい子育て支援

疑があり、家庭的保育補助者創設は安易な方法で後退であるとの意見がありました。「浜田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例」は、放課後児童支援員の資格要件などの質疑があり、それぞれ可決すべきものと決しました。請願の「手話言語法制定を求める意見書の提出について」は、他議会の採択の状況などの確認を行い、採択すべきものと決しました。

## (仮称) 旭統合小学校 校舎建設主体 工事業者決まる!

— 産業建設委員会 —

産業建設委員会に付託された、議案3件などの審査を次のとおり行いました。工事請負契約の締結について「(仮称)旭統合小学校校舎建設に伴う



(仮称) 旭統合小学校完成予定図

建設主体工事」について委員からは、入札の経緯や地元業者の優先借置、入札金額等について質疑があり、二つの特別共同企業体から応札があり一組に決まったこと、発注にあたっては、地元業者優先でA・Bランクの業者で特別共同企業体を組んでもらうよう依頼したこと、入札では一組が予定価格以下ということで決定し、もう一組は予定価格を超えていたとの答弁がありました。

また、「市道路線の廃止(小国25号線)」、「市道路線の認定(浜田55号線外)」など、付託を受けた議案3件について、それぞれ可決すべきものと決しました。

## 編成や執行状況を厳しくチェック!

### — 予算決算委員会 —

予算決算委員会では平成26年度一般会計および各特別会計の補正予算議案4件と、平成25年度一般会計、各特別会計および水道・工業用水道会計の歳入歳出決算認定議案13件について、審査を行いました。

9月12日には、予算議案の審議を行い、延べ33件の質疑があり、採決の結果、可決すべきものと決しました。

浜田城周辺整備事業や渡船集約支援事業、山陰浜田港水産物販売促進事業について質疑が集中したところです。

9月19日から決算認定議案の審議を行いました。延べ98件の質疑を3日間かけて審議し、一部

意見を付したものもありましたが、全て認定すべきものと決しました。

付帯意見として、一般会計では、公共施設の再配置計画について、市民の健康づくりを支援する事業の啓発と充実について、企業支援等に係る事業の執行率向上について意見を付しました。また、駐車場事業特別会計及び工業用水道事業会計についても意見を付したところでした。



審議が集中した「浜田漁港」周辺施設

今後、予算編成や予算執行が、効率的かつ効果的に実施され、市民生活に活かされているかをチェックできるよう、全委員で取組んでいきます。

## 請願・陳情審査経過及び結果 平成26年9月定例会審査分

区分	請願・陳情の内容	提出者	審査した委員会と結果
請願	集团的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の提出について	江津市後地町2456-2 憲法を活かす会 代表 古川 忠光 様	総務文教委員会 (不採択)
請願	手話言語法制定を求める意見書の提出について	松江市東津田町1741-3 島根県ろうあ連盟 連盟長 廣戸 勉 様	福祉環境委員会 (採択)
陳情	浜田市ツーリズム協議会に対する理解と体制支援に関する陳情	浜田市田橋町128-2 浜田市ツーリズム協議会 会長 小川 泰昭 様	産業建設委員会 (採択)

### 議案と請願に対して議員が討論を行いました

**議案第62号**  
「浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について」

**反対討論**  
西村 健議員  
反対理由はただ一点、本条例の内容が、現在の浜田市の保育実態や従来国が示してきた基準より低いレベルになっている点にある。

**議案第66号**  
「財産の無償譲渡について(旧金城中学校寄宿舎)」

**反対討論**  
西村 健議員  
譲受人が無償譲渡の条件を履行できなくなつた場合や、施設解体の必要が生じた場合の対応が不明確であり、議案としての要件を欠いている。

**請願第3号**  
「集团的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の提出について」

**賛成討論**  
小川 稔宏議員  
閣議決定はこれまでの憲法解釈を変え、新たに自衛の措置としての武力行使を認める概念を打ち出したもので、議の一穴にさせない努力が必要。

**請願第3号**  
「集团的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の提出について」

**反対討論**  
岡本 正友議員  
日米協力の国防には保障法制の整備が必要。憲法の解釈改憲ではなく、防衛のための必要最小限の範囲で明確にし合憲である。

**陳情**  
集团的自衛権は、国連憲章51条で認められた絶対的権利であり、国際社会で「名誉ある地位をしめたい」という日本国憲法の理念に基づく故に。

**賛成討論**  
西村 健議員  
憲法解釈の変更の本身は、米国の戦争に自衛隊が戦闘地域で軍事支援を行うことであり、集团的自衛権行使容認に公然と踏み込んだものである。

# 平成26年9月定例会での議案等の賛否の公開について(本会議)

認定第1号	平成25年度浜田市一般会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第2号	平成25年度浜田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第3号	平成25年度浜田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第4号	平成25年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第5号	平成25年度浜田市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第6号	平成25年度浜田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第7号	平成25年度浜田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第8号	平成25年度浜田市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第9号	平成25年度浜田市生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第10号	平成25年度浜田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第11号	平成25年度浜田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第12号	平成25年度浜田市水道事業会計決算認定について	賛成 23 反対 0
認定第13号	平成25年度浜田市工業用水道事業会計決算認定について	賛成 23 反対 0
議案第58号	浜田市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第59号	浜田市立小中学校条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第60号	浜田市立公民館条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第61号	浜田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の制定について	賛成 23 反対 0
議案第62号	浜田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の制定について 反対：西村	賛成 22 反対 1
議案第63号	浜田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の制定について	賛成 23 反対 0
議案第64号	浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	賛成 23 反対 0
議案第65号	財産の取得について(高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材)	賛成 23 反対 0
議案第66号	財産の無償譲渡について(旧金城中学校寄宿舎) 反対：森谷、西村	賛成 21 反対 2
議案第67号	工事請負契約の締結について((仮称)旭統合小学校校舎建設に伴う建築主体工事)	賛成 23 反対 0
議案第68号	新たに生じた土地の確認について	賛成 23 反対 0
議案第69号	町の区域の変更について	賛成 23 反対 0
議案第70号	市道路線の廃止について(小国25号線)	賛成 23 反対 0
議案第71号	市道路線の認定について(浜田554号線外)	賛成 23 反対 0
議案第72号	浜田市過疎地域自立促進計画の変更について	賛成 23 反対 0
議案第73号	栃木辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	賛成 23 反対 0
議案第74号	弥畝辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	賛成 23 反対 0
議案第75号	平成26年度浜田市一般会計補正予算(第3号)	賛成 23 反対 0
議案第76号	平成26年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	賛成 23 反対 0
議案第77号	平成26年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	賛成 23 反対 0
議案第78号	平成26年度浜田市公設水産物仲買売場特別会計補正予算(第1号)	賛成 23 反対 0
同意第4号	浜田市副市長(金城自治区長)の選任について 反対：森谷	賛成 22 反対 1
同意第5号	浜田市副市長(旭自治区長)の選任について 反対：森谷	賛成 22 反対 1
同意第6号	浜田市教育委員会委員の任命について	賛成 23 反対 0
同意第7号	浜田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成 23 反対 0
同意第8号	浜田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成 23 反対 0
同意第9号	浜田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	賛成 23 反対 0
請願第3号	集団的自衛権行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを求める意見書の提出について 賛成：岡野、小川、笹田、芦谷、西村、江角	賛成 6 反対 17
請願第4号	手話言語法制定を求める意見書の提出について	賛成 23 反対 0
発議第3号	手話言語法制定を求める意見書について	賛成 23 反対 0

詳細については市議会HPをご覧ください。

企業に結婚意識調査と啓発活動を！

「地域少子化対策強化事業」

一職場間の自発的な結婚意識の向上  
「早期結婚への支援づくり」を図る一

- 効果 ①職場間の結婚意識の向上創出  
②若者の婚姻数増加
- 内容 意識調査等・電話相談窓口  
結婚から子育て支援セミナー
- 予算額 123万3千円（国県支出金）

災害対策基本法の改正から義務付！

「避難行動要支援者名簿  
システム構築事業」

一災害に備え、地域への情報提供を行う一

- 効果 ①システム導入  
②実効性のある避難行動の支援
- 内容 本人同意の管理から業務を  
サポートするシステム導入
- 予算額 603万5千円

目指せ、学力の向上！

「土曜学習支援事業」

一土曜日の教育支援体制の構築一  
(26年10月から2～3回土曜日に施行)

- 講師 ①市民ボランティア（現職・退職教員）  
②県立大学生
- 予算額 複数年度  
26年度 85万3千円（一般財源）

水産物の販促と消費増強化PRを！

「山陰浜田港水産物販売促進事業」

一「しまねお魚センター」を活用一

- 新規出店者等に対する集客対策支援
- 予算額 2,108万3千円（一般財源）
- ・26年度 975万3千円
- ・27年度 566万5千円
- ・28年度 566万5千円

障害者優先調達推進法に基づく  
当市の取組は



佐々木 豊治 議員  
答 障がい者の経済的自立  
促進を図るよう取組む

当市の取組は

目指せ！浜田漁港・商港の  
水質日本一を！



笹田 卓 議員  
答 できることから、  
取組む

水質日本一を！

**質問** 平成25年から地方公共団体などの公的機関が、障害者就労施設から優先的に物品やサービス調達する障害者優先調達推進法がスタートしているが、取組状況を問う。  
**健康福祉部長** 浜田市の平成25年度の実績は82万4千円で、今後、発注の拡大を検討し、障がい者の経済的自立の促進を図るため前向きに取組む。

**質問** 胃がんの主な原因とされているピロリ菌検査を希望する市民に対して無料で受けられる取組ができないか問う。  
**健康福祉部長** ピロリ菌検査の有効性は十分認識しており関係機関の意見も聞きながら検討したい。

**質問** 土砂災害警戒区域と特別警戒区域の指定について、当市の状況と今後の動向を問う。



にぎわうチャレンジショップ

**建設都市部長** 土砂災害警戒区域としては3949ヶ所が指定されており、より危険度が高い特別警戒区域の指定は無い。今の指定の状況が決して良いとは思っており、このたびの広島土砂災害を受けての法改正の動きもあり、動向もみながら検討したい。

**その他の質問**  
○大阪市立大空小学校から学ぶべきことについて  
○通級指導教室支援について



海藻を食い荒らすガンガゼ！

**市長** 海の環境改善は、重要なことだと認識して

**質問** 海の環境は、海況の変化や栄養塩の欠乏で磯焼けなどが原因で悪化している。改善については、ガンガゼ等の食害の駆除や鉄炭団子を使用した水質改善策等の短期的活動が必要と考える。また、家庭や工場の排水に鉄イオンやEM菌を利用した水質改善策等や植林等の中長期的活動も必要だと考える。これらを当市で率先して行い、浜田漁港・商港の水質日本一を目指してはどうか？



浜田市民から東京五輪へ！

いる。予算などの問題はあるが、研究し、できることから取組む。

**質問** 浜田市民から五輪選手が誕生してほしいと願う。当市には様々なスポーツの分野で全国レベルの小中高生が多くいるが、育成についてどのような支援を行うのか？

**教育長** 先日、「島根東京オリンピック・パラリンピック推進本部（仮称）」の設置の提案があり、賛同した。選手育成強化策についても考えていく。

### 土曜学習支援事業の飛躍を



**答** 子どもたちの学び活動が広がるよう進める

道下文男議員

**質問** 中央教育審議会は、昨今の社会情勢のなかで、子どもたちの豊かな学び向上へ「多様な主体の参画による、放課後や土曜日等の教育支援の充実」を提言している。このことを踏まえ、市が今議会でご提案した「土曜学習支援事業」での、中学生に限らず小学生も含めた多様な学習支援への発展について考えを問う。



土曜学習の充実により学力向上を

**健康福祉部長** 当圏域の考え方、方向性については、できるだけ早い時期に周知できるように努める。

**質問** 主要観光施設の入り込み客の現状を問う。  
**経済部長** 7月度前年対比で、アクアスが13%お魚センターが23%、ゆうひパークが7%、きんたの里で9%減少と深刻な状況である。



料金軽減が望まれる浜田道

**質問** 先日、地元代議士を囲んでの国政報告会で過疎地に繋がる高速料金軽減を要望したが特区も含め市長の姿勢を問う。  
**市長** 改定は、消費税アップもあって大変厳しいと認識している。県市長会に割引制度導入を提案し、国へ上げてもらうよう提案しているし「特区構想」は、国会議員と相談し検討したい。

**質問** 安倍総理の創生本部有識者懇のメンバーに郷土の先輩コマツの坂根氏がおられるが、この件を相談し、それが安倍総



漁港を眼下にマリン大橋を渡るサイクリスト

**質問** 先日、地元代議士を囲んでの国政報告会で過疎地に繋がる高速料金軽減を要望したが特区も含め市長の姿勢を問う。  
**市長** 改定は、消費税アップもあって大変厳しいと認識している。県市長会に割引制度導入を提案し、国へ上げてもらうよう提案しているし「特区構想」は、国会議員と相談し検討したい。

**質問** 主要観光施設の入り込み客の現状を問う。  
**市長** 先般、坂根相談役から安倍総理と懇談するが人口減少とか地域課題について聞きたいといわれ、企業誘致とか経済活性化などは料金値下げが最も重要だと申し上げたが、周辺市町とも連携し引き続き頑張りたい。

### どうする浜田道料金 値上げ後の地元対策は！



**答** 周辺の市、町と連携してやっていく

牛尾 昭議員

### 交流人口拡大策は 来訪者の分析が基本だ



**答** 一部できているが本格的な調査は今からする

布施 賢司議員

**質問** まちへの来訪者についてカテゴリー別に分析・評価をしているのか。  
**産業経済部長** 石見神楽に関する来訪者の情報はアンケート調査で分析し改善に反映しているが、その他観光資源の分析は満足とは言えないので、関係者と一緒になって今後、調査・分析していく。

**質問** 自ら転車を楽しむ、まちづくりをすべきだ。  
**産業経済部長** 専門家の評価も高いので、自転車イベントの開催に取組みたい。また、サイクリストの誘客のため、環境整備を検討していきたい。

## 儲かる農業目指すなかで

### 若者雇用の施策は！



串崎 利行議員  
答 農業研修育成事業サポーター経営体の育成など

**質問** 日本の食料自給率は39%で、先進国で最低の水準であり、TPP交渉で大幅な関税引き下げを受入れる事になれば、自給率がさらに低下する事も予想される。自給率を上げる事は、大変重要であるが市の考えを問う。

**産業経済部長** 国の施策に沿った農業振興を図るだけでなく、産直市の活性化や学校給食への供給など地産地消の推進と大都市圏への販路の拡大を図っていく。

**質問** 若い人が参加しやすい、イベント・パーティー・交流会への参加などを援助し、元氣な浜田に向けての、取組を強化していただきたい。また若者が、自分たちが生まれ育った地で仕事がしたいと思える浜田市であるために、今、何が求めら

れているか問う。

**地域政策部長** 市のホームページでイベント情報などを紹介している。生まれ育った地で仕事がしたいと思っただけのためには、雇用の場の確保、子育て支援並びに教育の充実に努めたい。

**その他の質問**

- 農業災害の補助金
- 地域まちづくり推進委員会今後の状況
- 地域と市職員交流会
- 浜田市ゴミ収集計画
- 支所体制について



弥栄の水田風景

## 浜田市における

### 人口減少問題にどう取組むか



飛野 弘一議員  
答 市が直面する最大の課題

**質問** 全国知事会議で人口減少や少子化は死に至る病とし「少子化非常事態宣言」を採択した。浜田市における現状と方針はどうか。

**地域政策部長** 人口対策会議はすでに立ち上げています。女子職員13名で組織する定住プロジェクトチームを急遽立ち上げ女性の視点に立った効果的な政策を来年度予算に計上する。

**質問** 「婚活」において「出会いから育児まで支援」タイプが注目を浴びているが考えを問う。

**地域政策部長** 先日「婚活」イベントを開催。一定の成果も出た。今後も広島PRセンターの活用と県、支援団体、企業等と連携し積極的に取組む。

**質問** 担当部署を「縁結び婚活課」に改名しては。

**地域政策部長** 検討する。

**質問** 鳥獣による農作物への被害が増大している。せめて稲の収穫まで又猟期に入るまでの支援策は重要と思うが考えを問う。

**産業経済部長** 本年度分の予算は消化したが今後検討していきたい。

**質問** 三隅自治区の小学校で猪肉のミートボール500食が給食に登場。評判も良かったとの事だが継続予定を問う。

**教育部長** 地産地消の観点が必要。検討する。



婚活イベント・出会から育児

## 介護予防につながる

### 高齢者の社会参加促進を



柳楽 真智子議員  
答 生きがいと役割づくりで互助の推進を検討

**質問** 高齢者の地域活動ボランティアのポイント制度の導入が進められている。要介護状態にならないための生きがいづくりや社会参加促進など、介護予防につながる施策が重要である。自治体によって違うが、介護施設でのボランティアなどに参加した高齢者に対してポイントが付与され、貯まったポイントの商品との交換や換金できる。年間、5000円とか8000円などわずかな金額だが参加者は「金額の問題ではない。自分なりの地域貢献ができればいい。」と、喜んで活動をされている。地域の見守りや孤立者の減少につながると思うが、導入を考えておられるか問う。

**健康福祉部長** この制度は介護予防の効果が期待

できるだけでなく、地域の活性化や住民同士の間がりの強化を図ることができる。ポイント制度など高齢者の生きがい・役割づくりによる互助の推進も検討する。

**その他の質問**

- 災害時の対応について
- 高齢者の見守り
- 市道の草刈りについて



介護施設でのボランティア

荒廃から保全へ

平和と文化浜田のお宝高尾山



**答** 関係者から意見を伺い支援を検討したい！

岡本 正友 議員

**質問** 高尾山山頂の周辺環境は荒廃し、雑木で見渡せた景色も見ることができない。整備を望む声をきくが考えを問う。

**産業経済部長** 「平和の鐘」など周辺整備には、地権者・地域の方の意見を伺い支援を検討したい。

**質問** 浜田城開府四百年を前に、城址周辺や日本海を一望できる山頂は、市民の津波災害からの避難先や憩いの場である。浜田の観光資源にすることは、遺族会や住民の意識の醸成につながり、保全や草刈りなどの維持管理に期待ができる。浜田のお宝として、鳥瞰看板を設置するなど環境整備について考えを問う。

**市長** 施策として観光に力を入れたいと考えている。市民からも浜田のお宝として提案をいただい

ている。高尾山を観光の観点から考えてみたい。

**質問** イノシシ被害は中山間地域の大きな問題である。そして近年高齢化によって駆除する猟師の減少も新たな課題である。後継者育成や新たな食育と産業創出を目指す狩人塾の支援について問う。

**産業経済部長** 弥栄町で開催する狩人塾の活動は、高く評価できるものである。主催者の意見を十分拝聴し、どのような支援ができるか検討をしたい。



高尾山から浜田城址一望

市長答弁は、

自死の責任を認めたとと思うが？



**答** 議員の発言は市民に誤解を与える

森谷 公昭 議員

**質問** 自死された職員さんの直前の勤務は長時間残業があったという情報があるが、人事課は、その部署では月平均1人5時間程度だと言っている。サービス残業の強制があったのではないか。

**総務部長** サービス残業はない。その強制もない。職員から上司に時間外申請→上司内容確認→上司時間外命令→上司実績確認、という決まりは守られている。

**質問** サービス残業のチェック、防止はできるか。

**総務部長** 退勤入力後にサービス残業をチェックするシステムはない。特殊処理をすればわかるが、するつもりはない。

**質問** もし、「遅くまで仕事していた」と、職員や家族が証言されたらどう責任をとるのか？

**総務部長** 確認する。

**質問** 市長は「上司、職場がカバーできなくて申し訳ない」と発言されたが、労災申請は進んだか。

**総務部長** 市長の発言は、家族に対する思いを述べたもので、申請は市がするものではない。議員の発言は市民に誤解を与える。

**質問** 自治区が使える基金や投資的経費に本庁がブレーキをかけているという情報があるがどうか。

**財務部長** かけていない。



9月9日22時、市役所遅くまで残業？

ごみの減量化・資源化の推進を



**答** 分別細分化は困難、不燃ごみ中間処理は検討

西村 健 議員

**質問** 草ごみが増加傾向にあり、浜田市のごみ排出量が増えつつあることに対する認識を問う。

**市民生活部長** ごみ排出量は増加傾向にあり、改善の必要があると考えている。草ごみの量は数字的に把握していないので今後、把握に努める。

**質問** 廃プラスチックの焼却は、市の基本計画で示された「循環型社会の構築」に逆行するものであり、見直すべきと考えるがどうか。

**市民生活部長** 現在、廃プラ混焼試験に取組んでおり、試験結果を踏まえ、検討していきたい。

**質問** ごみの減量化・資源化を推進するために、分別の細分化について検討する考えはないか。

**市民生活部長** 高齢化の進展などにより分別が

困難な方も多く、現状でも相当な負担をおかけしており、困難である。

**質問** 同様の目的で、燃やせないごみの中間処理のあり方について検討する考えはないか。

**市民生活部長** 燃やせないごみは、中間処理の段階で、燃やせないごみ・鉄くず・燃やせないごみに再分別している。今後、小型家電リサイクルなどの資源物を抽出する方策について、調査研究を進めていきたい。



エコクリーンセンター（江津市波子町）

## 認知症高齢者見守り

### 協定の進捗状況は



**答** 浜田署とネットワーク構築に向け協議を開始

小川 稔宏 議員

**質問** 広報での啓発や子供講座の実施状況を問う。

**健康福祉部長** 広報はまだ10月号で特集を準備中。

子供向けサポーター講座は9月に周布小6年生を対象に開催予定である。

**質問** 徘徊による死亡事故をなくす具体策を問う。

**健康福祉部長** 躊躇せず警察や市に相談する。センサーやGPS機器は有効な手段で研究したい。

**地域政策部長** 認知症見守りもまちづくり総合交付金の対象で支援する。

**質問** 浦項市、石景山区との生徒国際交流事業の中止と課題について問う。

**教育長** 実施困難との報告や生徒の健康・安全を考え中止した。条件が整えば再開を検討したい。

**質問** 学校教育において領有権問題、慰安婦問題とどう向き合つか問う。

島根県立大学の知見に期待



島根県立大学の知見に期待

**教育長** 領土問題は指導要領等で指導するが、慰安婦問題は教科書になく授業で取り上げていない。

**質問** 友好都市との交流の現状と考え方を問う。

**産業経済部長** 連絡をとってなく計画もない。

**市長** 今後は民間交流を基本に行政は支援する考え方を持っている。

**質問** 北東アジア問題で県立大学との連携を問う。

**地域政策部長** 歴史問題等を直接研究テーマとする教員はおられず難しい。

## 土砂災害危険個所の

### 市民周知の方法は？



**答** 土砂災害に対するチラシを各戸配布

田畑 敬一 議員

**質問** 県は浜田市に、土砂災害危険箇所が、2572箇所とされている。

その危険箇所を市民に対する周知方法を問う。

**総務部長** 防災ハザードマップを配布し、内容は市のホームページでも公開している。広島市の土砂災害を受けて、周知徹底を図るため、改めて土砂災害警戒区域等を記載した地域ごとのハザードマップを作成し、行政連絡員を通じて、全戸配布による注意喚起を行った。

**質問** 8月3日、県消防操法大会が松江市で開催され、浜田市から、小型ポンプの部では、上府分団が優勝、ポンプ車の部では三隅消防隊が4位に入賞した。この結果の認識を問う。

**消防長** 浜田市消防団代表として小型ポンプ・ポンプ車に出場した消防団の技術力の高さや、結束力の強さを示したものである。今後、地域防災力の中核として、活躍できるように支援をする。

**質問** 出張所3名体制で火災対応や老老介護者搬送について問う。

**消防長** 火災や救急の出勤は、本署を中心に、三隅・弥栄の西部区域、美又・旭の東部区域の連携を深め緊密に補完し、弾力的な運用により初動体制の強化を図る。

三隅消防隊



三隅消防隊

## 浜田市の動物愛護への取組は？



**答** 啓発活動として「犬のしつけ方教室」を開催

岡野 克俊 議員

**質問** 浜田管内での犬猫の殺処分数は？

**市民生活部長** 一昨年在犬27頭、猫221匹で、昨年が犬17頭、猫139匹となっている。

**質問** 飼主の高齢化に伴う飼育放棄を防ぐ取組を問う。

**市民生活部長** 島根県は「動物愛護管理推進計画」を示し地域猫制度に助成等を通じて取組んでいるが、本年3月より浜田市でも一ヶ所で実施されており、管理するグループが餌付けや清掃を行っていく条件で了承された。

**市民生活部長** 「動物の愛護及び管理に関する法律」の改正により、飼主が動物の最期まで適切に飼養する旨が明記された。よって、高齢者が病

気等で飼えなくなった場合、極力家族や友人等に飼ってもらいたい。また、やむを得ぬ場合、保健所で成犬の場合、二千元で引取ることが可能で、一般の引取り希望者に犬猫を紹介している。

**質問** 全国で展開されている地域猫活動（引取り手のない猫に固体識別と

不妊手術を施し、一定の区画内で猫トイレ・餌やり場を設置して、猫を介しての市民のふれあいを推進する）の取組について問う。

不妊手術を施し、一定の区画内で猫トイレ・餌やり場を設置して、猫を介しての市民のふれあいを推進する）の取組について問う。

不妊手術を施し、一定の区画内で猫トイレ・餌やり場を設置して、猫を介しての市民のふれあいを推進する）の取組について問う。



飼えなくなった子猫

### 市長の教育に対する姿勢を問う



**荻谷 英夫議員**  
**答** さらに教育が充実するよう取組む

**質問** 地方教育行政法が改正され、市長の権限が明確になったが、教育への関与の考えを問う。

**市長** 法改正により首長の思いが伝わる制度となるが、過剰な関与は考えていない。教育が充実するよう教育委員会と連携し取組みたい。

**質問** 学校図書館法が改正されたが、学校司書の待遇が不安定であるが、継続し安定的に従事できるための具体策を問う。

**教育部長** 学校図書館の司書や支援員はパート職員であり、全校への司書の配置、勤務条件の見直しなどを検討したい。

**質問** 労働法制、雇用ルールの研修など、新卒者を地元に着させる具体的な方策について問う。

**産業経済部長** 新入社員合同研修会に労働法制の



進む地域での自治活動  
 ～佐野地区で行われた環境の講演会～

**市長** 市民の総参加が重要であり、人口減少対策、中山間地域対策、財政運営などを含め、市民の皆さんや地域が元気になるよう取組みたい。

研修を取り入れる、ワークショップ講座など研修の充実を図り、新卒者の離職をなくし、安心して働けるよう取組みたい。

**質問** 市民が総参加で市の元気づくりを進める、市長の決断で新しい自治区制度を創造し、踏み出すことへの決意を問う。

### 来年度から介護保険料は上がるのか？



**足立 豪議員**  
**答** 現在よりは上がらざるを得ない

**質問** 浜田市は人口減少と超高齢化の進行と言った大きな問題を抱えているが、福祉政策に対する組織体制の強化や職員の人員配置について問う。

**健康福祉部長** 来年度の浜田市全体の機構について検討中であるが、健康福祉部も人員増を要望している。

**質問** 介護保険法の改正に伴う「地域支援事業」への移行について問う。

**健康福祉部長** 移行年度をいつにするべきかも含め、浜田地区広域行政組合と江津市とともに検討している。

**質問** 地域支援事業へ移行することによって、介護保険料がどの程度あがるのか問う。

**健康福祉部長** 地域支援事業への移行に伴う介護保険料値上げはないが、



手を取り合い支えていこう

**健康福祉部長** 地域支援事業へ移行するまでは、現在の介護給付を継続することになっており、来年3月に介護報酬の改定があるが、その改定以外で介護報酬が変動するようなことはない。

来年度からの1号被保険者の介護保険料は、現在の保険料より上がらざるを得ないと聞いている。

**質問** 地域支援事業へ移行するまでの間の介護事業者の収入に支障は出ないのか問う。

### 地域のお宝である 先人に学ぶ教育を！



**上野 茂議員**  
**答** 先人に学ぶ教育の推進を図っていく

**質問** この地に縁のある数多くの先人の功績や教訓は立派な地域のお宝、先人に学ぶ教育について問う。

**教育部長** 旧市町村において、ふるさとの偉人を記した書物や副読本が作成されている。今後再編集し、新たな偉人伝を副読本とし、ふるさとに愛着と誇りを持つ子どもに育つよう、先人に学ぶ教育の推進を図っていく。

**質問** 金をかけて遠くの焼却場に行かなくても地元で必要とすれば、飼料や堆肥として活用する仕組みを考えないのか、また刈り草の堆肥化・焼却の現状について問う。

**都市建設部長** 今後、地域において、堆肥化から農地還元までを適切に管理される組織等ができるのであれば、減量化や有

効活用に向けて検討する。



先人を偲ぶウオーキング

**都市建設部長** 同じ横断自動車道でありながら有料、無料が存在する不公平の是正を「特区構想」も含め関係機関との協議を行う。

後の対応について問う。

## 邑南町との交流協定で

さらに戦略的連携を！



**答** 人材育成やツーリズムで相乗効果を目指す！

西田 清久 議員

**質問** 邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協定の締結には、戦略的要因を感じるが、グリーンツーリズムや子ども農山漁村交流プロジェクトの先進地である邑南町との将来的な戦略的連携について考えを問う。

**市長** 邑南町とは、今後、共同パンフレットで山陽方面にPRしたり、おもてなし研修を一緒にできないか担当ベースで検討する。また、邑南町は子どもたちの体験、宿泊、交流も積極的に受入れしている。当市としても、まず、広島の子どもたちに島根、浜田に来てもらいたい、自然を満喫してもらいたい。そして、やがては関西、関東へ広げていくように取組んでみたい。

**質問** 担当部署の専門職

員が、研修を重ね、育ててきた頃に人事異動になるケースがある。非常にもつたないかと考えるが、やる気を持った職員をプロとして育て上げる考えについて問う。

**市長** 特に産業や観光などの部署については必要性を感じる。民間と一緒にやるセクションについては、期間を検討する。

○交流都市「浜田」の推進

○市民一体の自治意識の醸成について



子ども体験交流事業

## 「誰も自死に追い込まれない」

体制づくりを



**答** その重要性を重く受け止めている

江角 敏和 議員

**質問** 政府が示す「誰も自死に追い込まれることのない体制づくり」等への見解と実施状況を問う。

**市長** その重要性を重く受け止めている。

**健康福祉部長** 自死防止対策は、全世代に対応した、きめ細かな普及啓発活動に努めている。自死は、「弱い人の行動ではなく、『生きたい』という気持ちを持ちながら解決方法を見いだせなかった状況下での決断である」と聞く。今後もご遺族の声を真摯に受け止め、市民一人ひとりが、命の大切さと、その重みを考えられる「まち」となるよう最大限の努力をする。

**質問** ご家族が行われた「公務災害申請」の動向について問う。

**総務部長** 6月に請求書の提出があり、「地方災

害補償基金島根県支部」へ送付した。

**質問** 労災認定基準が示されている資料もある。しかし審査は外部で行われる。ある方は、「家族の自死は心臓をえぐり取られるようにつらい」と言われている。いま大切なのは、ご家族への支援だと思いが、どうか。

**総務部長** 今後、機関から求められることがあれば積極的に協力したい。ご家族へも様々な面で、対応していきたい。



自死遺族の思いを伝えるパネル展(市役所ロビー)

## 注意や避難等の

情報伝達は大丈夫か？



**答** 防災行政無線やメール様々な手法で行ってる

野藤 薫 議員

**質問** 集中豪雨からの防災・減災対策と土砂災害・水害でのハザードマップの見直しを問う。

**総務部長** 土砂災害防止事業は一朝一夕に出来ないが、県と連携し、整備を図っている。内閣府より4月に出された「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」でダム建設や河川改修の状況により、各種基準の見直しが有れば、見直しを行う。

**質問** その後の浅井川周辺(低地)の対策を問う。

**都市建設部長** 浅井川は地形的要因により雨水が流れず、内水氾濫になった。第二浜田ダム完成後は、水位上昇のピークが抑えられ、氾濫の危険性は低下すると考える。逆流防止のフラップゲートの取替や修繕を行う。

**質問** 沖底船リシップ事業の実証実験の結果は？

**産業経済部長** まだ1年目だが、燃油や修繕費の削減、鮮度向上については効果が出ており2年目の実証実験後、検証する。

**質問** ケンサキイカは魚価の向上になるが問う。

**産業経済部長** 浜田港四季のお魚(秋)として選定した。活イカは課題があるが、はまごち加盟店等へ働き掛け、広島からの誘客を図って行く。



完成間近の第二浜田ダム

何故、ごみ袋の簡素化が

中止になったのか？



答 慎重に検討、との答申があり、中止にした

澁谷 幹雄 議員

質問 リハビリテーションカレッジ島根は、浜田商工会議所会頭の理事長就任という経済界の全面協力で存続の危機を回避した。行政も、地元入学者に授業料を補助するなど、入学者確保のために、三隅町の自治振興基金を使って全面協力すべきではないか？

三隅支所長 地域医療充

実にはなくてはならない学校なので、経営安定化のために、あらゆる選択肢を検討したい。

質問 「米百俵の精神」がない浜田市で、老朽化した小中学校の修繕整備への予算獲得は、尋常の努力ではできない。教育委員会の決意は？

教育部長 全力投球する。

質問 国民健康保険料の値上げで、市民は悲鳴をあげている。一般会計か

ら繰出して、値下げすべきではないか？

市民福祉部長 その考えはない。

質問 「ごみ袋の簡素化」は、「元氣な浜田」をつくるための市長のロードマップの主要16事業の一つであるのに、半年も経たない内に、中止が発表され、信じられない思いだ。どういったことか？

市長 市環境清掃対策審議会から「慎重に検討するよう」答申があったので、中止にした。

各部署に専門官的職員の配置を！



答 今後の検討課題としたい

平石 誠 議員

質問 毎年実施されている人事異動の対象者や年数等の基本的な考え方を問う。

総務部長 原則年2回、4月と7月に実施している。対象は、原則5年以上同じ職にある者として

いるが、新規採用の職員は3年を目安としている。管理職や職務の性質上専門性を必要とする職場や継続性が求められる職場においては目安は設けていない。

質問 各部署に専門官的な役割を置くことにより市民サービスの充実を図れないか問う。

総務部長 建築士や保健師などの専門職については、必要に応じて配置している。事務職については、幅広い知識を持ち多方面で活躍できる職員の養成が求められる。一方

で、高度な知識や豊富な経験が特に必要とされる職場、関係団体等から継続勤務が養成される職場等もあることから、専門官的な役割の配置については今後の検討課題としたい。

質問 自治区ごとに違いのあるごみ出しルールを統一すべきと考えるが、所見を問う。

市民生活部長 市環境清掃対策審議会からの意見をいただきながら検討をする。



医療福祉の充実に向け、人材育成の拠点一リハビリテーションカレッジ島根



人事異動の担当課

### 議会改革推進特別委員会の取組について

＝ 議会改革推進特別委員会中間報告 ＝

浜田市議会議会改革推進特別委員会は、昨年12月に議会の議決を経て設置され、議会改革の推進を図るため、協議・検討を行っております。

委員会設置後、これまでに一定の結論を出し、実施された主なものとしては、

- ① 本会議場の質問席及び委員会等へのペットボトルの持込み。
  - ② 議論を聞き返すためのレコーダーの持込み。
  - ③ 法令等の検索などのための、委員会等へのタブレット・スマートフォンの持込み。
  - ④ 執行部の反問権行使。
  - ⑤ 委員会の記録を議会ホームページに掲載。
- などがあげられます。



委員会の様子

また、視察では、兵庫県西脇市議会が、市民の皆さんにもっと議会に親しんでもらおうということで、市議会の本会議場を市民の皆さんに開放し、講演会等を議会自らが企画・運営して参加者の皆さんには非常に喜んでいただいているという様子を伺うことができ、早速本委員会の検討項目に付け加えて、今後検討していくことにしています。

議会改革については、通年での議会開会やインターネットの活用など、課題、検討項目はまだまだ多くありますが、引き続き、市民の皆さんにとってわかりやすい議会を目指して委員会での検討を進めていきます。

## 意見交換や公聴会から検証と調査

＝ 自治区制度等行財政改革推進特別委員会 中間報告 ＝

平成25年12月議会において浜田那賀方式自治区制度の検証と今後のあり方について調査及び研究を行うことを目的に各会派の代表から合計13名で構成する特別委員会が設置されました。今日まで6回の会議を開催しています。第2回では、特別委員会の今後の取組として、

- ① 自治区長との意見交換を行うこと。
- ② 地域協議会との意見交換会を行うこと。
- ③ 7月以降、執行部が市民の皆さんを対象とした公聴会を開催する予定。特別委員会委員もその公聴会に参加して、市民の皆さんの意見をしっかりと伺うこと。

の3点について、方向付けをしました。

第3回・第4回では、行財政改革推進計画に対する前年度実績と次年度計画について、自治区制度については、第4回に各自治区長との意見交換を、第5回には各自治区地域協議会正副会長の意見交換を実施しました。

今後、自治区制度については、これまで行った意見交換で出された意見や、各自治区で開催された公聴会での意見等を整理するとともに、検証と調査・研究を精力的に進めていきます。



地域協議会との意見交換会

## 『新改正公会計』を都庁に学ぶ!

＝ 総務文教委員会 視察報告 ＝

総務文教委員会は、7月8日から10日の3日間千葉・神奈川・東京の一都二県の4ヶ所を視察しました。視察の目的は、

- ① 公共施設ファシリテイマネージメントの取組
- ② 図書館の指定管理の業務委託での取組
- ③ 改正を予定される公会計の以上3点です。

初日の佐倉市は、建物の設備や環境等の必要性、ストックや老朽化の状況を電子データ化して把握し、改修計画を行う取組で、浜田市の再配置計画策定に重要な視点です。

2日目の海老名市では、市民のライフスタイルなどの多様化から「図書館の利用アップ」「文

化教養・にぎわいの拠点整備」「施設の耐震改修」等の課題解決策に民間のノウハウを生かした指定管理が、始まっています。

今後、財政だけでなく要望等を総合的に判断してどのような姿が良いのか参考になりました。

午後には江戸川区、そして最終日には都庁を訪ね、平成30年から実施される新公会計について、コストやマネージメントの理解度をあげるための調査研究を行いました。

今回は総務省方式でなく、東京都庁方式（発生主義・複式簿記会計）について学びました。



東京都庁

## 『介護財政健全化は高齢者の元気づくりから』

＝ 福祉環境委員会 視察報告 ＝

福祉環境委員会では7月1日から3日まで、山梨県北杜市、岩手県遠野市、青森県八戸市などを視察しました。

北杜市の介護予防と日常生活支援事業は、通所型予防サービス「ふれあい処北杜」で介護予防、配食と安否確認などの生活支援サービスを行い、「あんきじゃんネットワーク」で新聞店・宅配業者など民間事業者との協力で地域の見守り活動を行っています。また介護支援ボランティアポイント付与制度も進め、高齢化率が高いものの元気な高齢者が増え、介護認定率は10・8%と低く、介護給付費の抑制につながっています。

遠野市は子育て支援「遠野わらすこプラン」として、助産院「ねっと・ゆりかご」、児童館・児童クラブ料金の無料化、病児等保育施設「わらっぺホーム」の設置など、安心できる子育てに取組み、人口流出を防ぎ定住促進につなげています。

八戸市は環境にやさしいまちづくりとして、小学校での環境学習会、環境展の開催、環境月間行事など啓発事業を実施し、木質ペレットストーブ導入によるバイオマスの地産地消、小型電子機器などのリサイクル回収にも取組み、経済活動での環境負荷の低減、環境分野の技術革新による雇用や事業機会の創出などを進めています。



遠野市での視察の様子

## 磯焼け対策！藻場の再生事業を学ぶ

＝産業建設委員会  
視察報告＝

6月30日から3日間、北海道伊達市、寿都郡寿都町、千歳市を視察しました。

伊達市では、観光客の通過型ではなく、立ち寄りが増加させるため、地域資源を活かした多様なツーリズム、「食」を通じたまちおこし「ウエルシーフード」構想など、多軸を核とした観光振興の取組について研修しました。寿都町では、「海の森プロジェクト」として、過去の磯焼け対策と合わせ、平成23年度からは施肥の投入（量産化に向けて新たなシステムの導入）、ウニの移植（食圧の抑制）や藻場再生ユニット開発・設置などを実施することにより、明らかに水揚げ



藻場再生の固形肥料

高に現れていると報告がありました。また、効果がある施肥を一個あたり、1500円で販売している、岩手県久慈市も利用していると聞きました。当市も関係機関と費用対効果も協議しなければなりません、まずモデルとして施肥を買い入れて実験することが、藻場再生の第一歩になるのではないかと思います。千歳市では、誘致企業のプロモーション等を積極的に進めている取組を研修しました。都会地での広報活動や10万人のセールス作戦、3ヶ所からの助成制度といった特徴はいくつかありましたが、誘致のポイントは産・学・官の連携が重要であり、最後の決め手は市長にトップセールスで働いていただくとのことでした。

## 議会報告会の改善に向けて

＝議会広報広聴  
委員会視察報告＝

4月14日から3日間、千葉県流山市、埼玉県狭山市、所沢市を訪問致しました。

流山市では「議会報告会の手法」について視察。平成21年より、自治基本条例、議会基本条例に基づき議会報告会を年2回土日に開催、時間は地域により変えているとのことでした。

報告会の内容は、定例会の概要報告に加え、開催地域の特性を考えたテーマを担当単位で決定し参加者と意見交換を実施していると聞きました。また、直近の開催では班編成を常任委員会ごとにし、所管事業のテーマで報告会を開催したそうです。議会の一丁化も進め



狭山市での視察の様子

スマートフォン使用の電子採決やタブレットも導入したと言われました。狭山市では「議員が発信するケーブルテレビ」を視察、議員による議会情報番組（10分）を広報委員会が企画制作しています。

所沢市では「議会報告会の手法、問題点」を視察。開催の方法や内容は浜田市とはほぼ同じですが、告知方法が、新聞折込チラシ、議員自ら広報車で地域を回り、駅前でのぼりを立てて、仕事帰りの市民に開催チラシを配るなどしています。浜田市議会として、議会報告会の改善に向け、さらなる努力をしています。

## 通年議会等の会期制度について学ぶ！

＝議会改革推進特別  
委員会視察報告＝

7月14日から2日間、兵庫県明石市と西脇市を視察しました。

当特別委員会では通年議会等について検討を進め、明石市が本年から年2回会期制を導入されたことを受け、視察を実施しました。効果として、会期の日数を大幅に延長することで、時機を逸せず本会議を開催することが可能になり、閉会中に行われてきた市長専決処分を最小限にする等、議会審議の充実を図ることができるとのことでした。また、明石市では本

継も実施されており、こちらについても内容をお聞きし、今後の参考とさせていただきます。



明石市での視察の様子

西脇市では「一般会議」として市民との意見交換会を実施されていることを受け視察をしました。議場でコンサート等を実施する議場の開放事業や、諸会議のインターネット中継等の議会活性化の取組についても内容をお聞きしました。今回の視察では、制度設計の大切さを学ぶことができました。また、多くの市民の方が議会に興味を持っていただけたため手法も学ばせていただきました。今後、視察を通じてそれぞれの委員が感じたことや参考に思ったことなどを浜田市議会の議会改革推進に活かしていくよう努めます。

## 嬉しいメールが届きました!

平成24年2月、浜田市議会で宮城県気仙沼市、福島県相馬市の仮設住宅全戸に浜田市の特産品を持って行きました。市民の皆さんの募金、当時の宇津市長の英断、水産加工組合様の協力で実現しました。

今回、その時のことについて嬉しいメールを、山形県河北町で開催された全国奴まつりに参加した市民の方からいただきました。

「山形で、とても嬉しいことがありました。気仙沼の山田大名行列保存組合の方が、懇親会の際に、震災の時に浜田市の議員の方々が赤天を仮設の家に全戸配布されたことのお礼の言葉をいただきました!『あのときの事は一生忘れません。とてもとても嬉しいことでした』と、何度も言われました!『全戸に配布できるような数を計算して持って来ていただいたのは浜田市さんだけだった』と!!素晴らしいことをされたんだなと改めて誇らしく思わせていただきました!ありがとうございます!!」



気仙沼漁港の朝日



## 義援金を届けました!

浜田市議会では、議員全員の総意で、8月の豪雨災害により大きな被害を受けられた広島市に対し、義援金を贈りました。

平成26年9月18日(木)に原田議長、澁谷副議長が広島市議会を訪問し、碓井法明広島市議会議長に手渡しました。

## 政治倫理基準違反で議員に嚴重注意

### 浜田市議会議員政治倫理審査会報告

浜田市議会議員政治倫理条例では、「議員は、市民全体の奉仕者として、市民の信頼に値するより高い倫理的義務に徹し、その使命を達成するよう努めなければならない。」とされており、議員がこの条例に定める政治倫理基準に違反する疑いがあるときは、他の2名以上の議員が連名で、議長に審査を請求することができ、議長は審査請求があったときは浜田市議会議員政治倫理審査会に審査を要請することになっています。

#### ●審査内容と経過

平成26年6月2日付で、牛尾博美、道下文男両議員から、森谷公昭議員に係る次の言動等(抜粋)が政治倫理基準「品位又は名誉を損なう行為を慎むこと」に違反する疑いがあるとして、議長に審査請求がなされ、議長から政治倫理審査会に審査要請がありました。

- (1) フェイスブックに、行政視察の夕食時の写真をさも観光旅行的イメージを与えさせるように掲載し、説明でも費用面を強調して行政視察のあり方について市民に誤解を招きかねない表現を行っていること。
- (2) 議会での録音は、「議論を聞き返すために必要な場合」に可としているが、全員協議会でのやり取りの録音・フェイスブックへの掲載は議会で申し合わせた事項に違反していること。
- (3) 行き過ぎた議員活動により市職員の業務に支障が出ているとして、市長から行為の自粛を働きかけるよう議長に申し入れがなされたこと。
- (4) 上記(3)について新聞報道がなされ、議会報告会で市民から議会の対応を求める意見が出されたこと。

審査会は、6月9日から6回にわたり審査会を開き、関係者からの意見聴取等を行うとともに、審査要請のあった事項が政治倫理基準に違反するかどうかについて慎重に審議を行いました。その結果、(1)から(3)について、市民全体の奉仕者として、その品位又は名誉を損なう行為があり、政治倫理基準に違反するとの結論を出し、議長に対し、7月29日「今後、政治倫理基準に違反するような行為を行わないよう反省を求め、嚴重注意」するよう求めました。

なお、議長より同日森谷公昭議員に対し、嚴重注意がありました。

市政に届けて！  
私たちの声を

## 議会報告会で出された質問に対する市の回答

意見等	回答
浜田市のホームページには、市の具体的な施策が見えない。ホームページの内容充実をお願いしたい。	浜田市ホームページは、本年3月に全面リニューアルしました。「誰にでもわかりやすく、利用しやすいホームページ」を目指し、閲覧する方の立場に合った情報を適切に探せるよう、デザインや情報分類を見直し、再構成を行いました。 今後も、生活する上で必要な情報はもちろんのこと、市の具体的な施策・制度などを積極的に掲載し、充実したホームページになるよう、鋭意努めてまいります。
市民はまちづくりに対して色々なアイデアを持っているが、どこに届けたらよいか？	浜田市には、市民の皆さんの声を市長に直接届けることができます、「市長直行便」制度を設けています。 「市長直行便」でお寄せいただいたご意見・ご提言は、市長自ら確認し、あわせて、担当部課へ指示し、今後の市政運営の参考にしています。まちづくりに関する様々なアイデアも、「市長直行便」でお送り下さい。
買い物、通院などの交通弱者対策を考え高齢者に優しいまちづくりをしてほしい。	本市の公共交通手段として、民間路線バスの他、生活路線バスや予約型乗合タクシーの運行を行っておりますが、公共交通の利用にあたっては、不便であるため運行の増便等の要望をいただいております。 今後は、財政負担も考慮の上、高齢者の要望に対応した安心して生活できる交通手段の確保に向けて取り組んでまいります。
ふるさと寄附の使途はどうなっているか。	ふるさと寄附の使途については、寄附を受け付ける段階で7つの使い道を指定いただいております、寄附者の意向に沿った活用としております。 ふるさと寄附による寄附額が大きく増加しており、今後はその使い道についても、有効に活用するとともに、市民の皆さんに説明できるようにしてまいります。
浜田の偉人の歴史巡りなど、ふるさと教育を取り入れて欲しい。	従来から、各小中学校では、「ふるさと教育」の一環として、浜田出身の偉人等の学習や、現在広く社会で活躍されている方々の経験談をお話いただく機会などを設けております。 今後、より多くの偉人の功績や現在活躍されている著名人について学習することで、さらにふるさとに誇りを持つ子どもが育っていくものと考えており、各中学校区でのネットワーク会議等で体系的に協議してまいります。 また、現在、ロードマップにおいても、合併前に各市町村で作成した郷土の偉人伝等をまとめ、教材とすることも検討しております。

たくさんの質問・要望等をいただきましたが、紙面の都合上一部を掲載しております。  
詳しくは議会HPをご覧ください。

★この議会だよりは1部あたり42.4円でできています。

### あどがき

今回の一般質問は、災害関連が8人もありました。広島豪雨は8月20日から被害が拡大し、昨年8月24日の浜田豪雨の記憶がよみがえりました。目と鼻の先の安佐南区での豪雨だ、浜田は大丈夫なのか？そんな危機感が「災害の質問」を増やしました。  
避難場所・避難情報・伝達手段・高齢化・警報・危険箇所・砂防・治山・前兆・避難指示・ハザードマップ・要支援者・危機管理体制・は大丈夫か？  
一般質問の締切は8月26日。一命以上大切なものは「命」議員全員が身の引き締まる思いのなかでの「発言通告」作成作業となりました。  
(記 森谷 公昭)

- 【編集委員】
- 田畑 敬二 委員長
  - 笹田 卓 副委員長
  - 足立 豪 委員
  - 柳楽真智子 委員
  - 森谷 公昭 委員
  - 野藤 薫 委員
  - 布施 賢司 委員
  - 岡本 正友 委員
  - 澁谷 幹雄 委員
  - 牛尾 昭 委員

【議長なんでもメール】 議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。  
浜田市HP→浜田市議会HP「議長なんでもメール」まで